

みんきょう便り 第12号

平成27年3月20日発行
みんきょう…三島町民生児童委員協議会の略です

□■□ みんきょう活動日記 □■□

12月・歳末たすけあい募金運動実施 「みんなでささえあう あったかい地域づくり」

去る12月1日から共同募金運動の一環として、各地区担当の民生・児童委員が各家庭を訪問し、歳末たすけあい募金運動を実施しました。

集まった募金は、三島町民生児童委員協議会において配分検討が行われ、町内の要援護世帯への見舞金贈呈事業、「特別養護老人ホーム桐寿苑」への行事等助成事業として配分されました。又、地域ふれあい配分事業として町内各地区での冬期間における高齢者の生活支援、地域に住む子供達と高齢者の方の世代間交流などに役立てられ、更には町内の福祉活動に活用されます。

御協力いただいた皆さんに心より感謝申し上げます。
(募金の詳細は、ゆい・はーと⑧ページをご覧ください。)



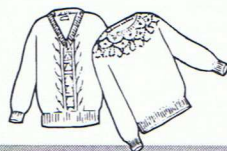
↑三島町民児協の役員が桐寿苑を訪れ、秦理事長にお渡ししました。

2月/一斉訪問活動日

2月1日、三島町民生児童委員協議会は担当地区内の一斉訪問活動を実施しました。「こんにちは、民生委員の〇〇です。変わりありませんか？」と訪問し、お茶のみ話をしながら近況を報告しました。帰るころは皆さん同じように「よろしくお願ひします」「お世話になります」「ありがとうございます」と言ってくれます。特別何かするわけでもありませんが改めて民生委員への期待感を感じ、気が引き締められます。小さなことでも結構です。何かあれば担当地区の委員に声をかけてください。委員一人一人の力はわずかですが、関係機関との仲介役に努め、少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。

今回の訪問で次のような話を聞きました。『今年米寿を迎えた方が、娘さんから「米寿のお祝いに何がいい」と聞かれ、何も無いと言ったところ毛糸をくれたそうです。その毛糸でセーターを編んで娘さんにあげたら、自分にも編んでくれと言って今度は息子さんも毛糸をもってきたそうです。おかげで手先を休める暇もなくボケ防止になり、一石三鳥になると言って笑っていました。』特に冬期間は散歩が不便なので編み組や編み物、縫い物等で手先を使っている方が多いようです。

【報告者 佐久間 宗一（宮下）】



2月/福祉座談会（川井地区）

去る2月24日に川井地区で「福祉座談会」を行いました。二瓶譲社協会長の挨拶のあと、社会福祉協議会の事業内容の説明がありました。

地域住民の方が安心して生活できるようにと、行政や関係機関が一緒になり福祉サービスや相談等が行われています。住民の方より介護保険料が高くなっていると質問がありました。三島町は高齢者の医療費が高いのです。

一人一人が健康で元気でいたいと思います。

座談会のあと、みんなでワナゲをして楽しみました。

【報告者 馬場 弘子（大登）】

→ 大勢集まった福祉座談会



平成26年度 主な活動

①定例会

原則・毎月第1木曜日開催

基本的な内容は、報告・協議事項・担当地区内の課題及びケース・今後の日程

【自主研修】

5月「災害時一人も見逃さないために日頃から民生・児童委員として何をすべきか」

6月「生活困窮者自立支援事業について」

8月「社会福祉協議会の事業と補助金・助成金について」

11月「最近の犯罪実態となりすまし詐欺について」

【小グループ意見交換】

6月「生活困窮者の自立・就労支援について」

9月「自身の活動事例と悩みや思いについて語ろう」

2月「26事業・活動の反省と27事業計画作成に向けて」

②役員会 定期・・・3回（4月・12月・2月）

③広報委員会・・・3回（6月・10月・1月）

④研修会 研修

8月	県民児協主任児童委員活動研究委員会（福島市）
8月	市町村民生児童委員・相談援助研修会（会津若松市）
9月	三島・金山・昭和3町村民児協合同研修会（金山町）
10月	中堅民生委員・児童委員研修会（会津若松市）
11月	会津地方民生委員研修会（猪苗代町）
11月	主任児童委員研修会（郡山市）
11月	第68回福島県社会福祉大会（福島市）

⑤視察・研修 10月 視察研修（福島市・県警本部ほか）

⑥調査活動

- ・福祉票・緊急連絡カードの整備
- ・災害時要支援者カードの作成・整備
- ・福祉マップの整備
- ・除雪援護費助成対象者調査
- ・冬期間留守世帯の調査

⑦相談活動

- ・心配ごと相談所の運営協力
- ・各地区での相談援助活動
- ・一斉訪問活動 年3回（5月・10月・2月）

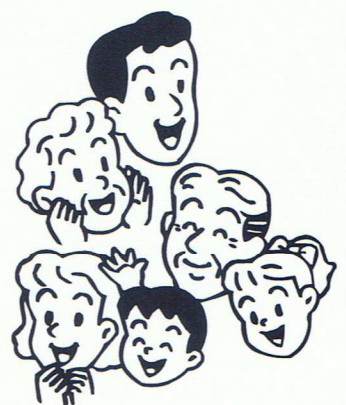
⑧見守り活動

- ・豪雪停電時の要援護世帯等の訪問
- ・消防署の年末・年始特別警戒の協力

⑨「みんきょう便り」の発行 年3回（7月・12月・3月）

⑩その他の活動

- ・地域ふれあいサロンの開催支援・協力
- ・「民生委員・児童委員の日」活動強化週間の訪問活動
- ・大石田長寿会との交流会
- ・歳末たすけあい募金活動の協力と除雪援護費助成世帯の選定
- ・除雪時要注意世帯の調査
- ・社会福祉協議会への協力
- ・町・学校・保育所事業への協力
- ・町老人クラブ連合会・町戦没者遺族会事業への協力



【編集後記】

今冬は寒暖の差が激しく12月に豪雪となり、その後は差程でなくとも、まだまだ軒下には多くの雪が残っています。雪質は湿り気が多く、屋根の上にキノコのような奇妙な形の雪庇が残っている光景があちこちに見られました。それでも弥生3月、樹々もすべての草花が、雪の下で今か今かと芽吹きを待ち、万物が躍動する春がそこまでやってきています。

『みんきょう便り』も今年度最終号です。ご愛読頂いております皆様、ありがとうございます。今後もお届けいたしますので、宜しく願いいたします。季節の変わり目は体調を崩しやすいものです。十分に体調管理にご留意の上、春をお迎え頂きたいと思っております。【西方 北館 長一】

発行：三島町民生児童委員協議会

＜広報委員＞

北館 長一
五十嵐 和吉
栗城 和代

事務局/三島町社会福祉協議会